

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果（ピンクの電子レンジ）

- (1) ランプは点灯するが、食品を載せる台が回転しない、（図-1）
- (2) 中を診察すると、ベルトが外れていた。（図-2）



図-1 ランプは点灯するが食品台回転しない



図-2 中を見るとベルトが外れていた

2 治療の方法

- (1) 外れる原因はすぐに分かった。図-3のようにプーリーが傾いているからだ。（図-3）
- (2) 治療としては、箱の面とプーリーの間が2mm位ある。穴がやや大きいのかベルトで引っ張られて傾くのだ。穴を小さくするのは難しいので、1.5mmくらいの厚さで図-4のようなものを作った。
- (3) 厚さが薄いと傾きが直らない。厚すぎると回転に抵抗が出来てまずい。

クリアフォルダー(書類ケース) 材質で、図-4のような直径4cm内径12.5mmの円盤2枚、0.4mmの厚紙で1枚の円盤を作り、厚紙の円盤をクリアホルダーの円盤2枚で挟みボンドで張り合わせて作成したのが、図-5の白い円盤である。



図-3 食品台の裏側のプーリーの傾き



図-4 傾き防止の円盤



図-5 3枚を張り合わせた円盤

- (4) 3枚を張り合わせた円盤は、箱側にもプーリー側にも貼り付けてはいない。抵抗をなくするためにプーリーと一緒に回転してもいいようにしている。

3 治療後の結果

(1) 図-3 と図-6 を比較すれば、その違いがよく分かる。



図-6 治療後のプーリーとベルトの状態(底辺から)



図-7 治療後のプーリーとベルトの状態(側面から)

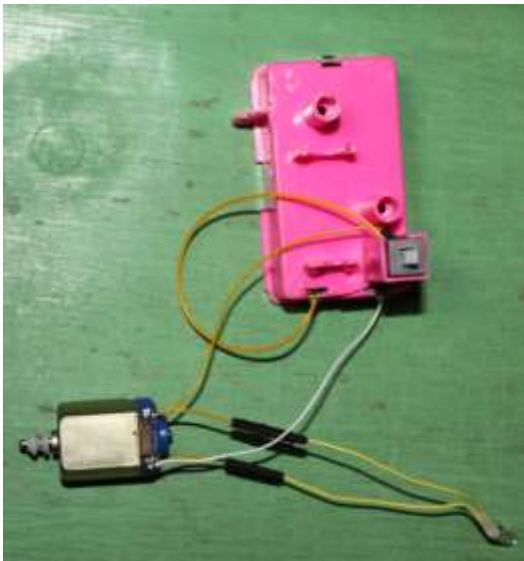


図-8 全部のリード線を日本製に交換



図-9 某国性のリード線



図-10 日本製のリード線

(2) 作業中半田付けの根元からプツリ・プツリと切れてしまったので、全部のリード線を日本製に替えた。ただし、麦球リード線だけは、黒のテープのところ、日本製のリード線に半田付けしている。半田付けの根元からきれるからである。

3 ドクターからのアドバイス

- これからはゴムベルトが外れることはないと思います。
古くなって、ゴムベルトが伸びた場合や、切れた場合は外れます。
- ◎ たのしく遊んでくださいね。

お渡し予定日： 平成29年04月09日
担当ドクター： 谷 春 雄